

## 令和4年度第2回小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議報告

日時：令和5年2月8日(水) 10:00～11:30

会場：小合地区コミュニティセンター

### 【出席者】

小合コミ協：田村副会長、金津コミ協：青木会長、小須戸コミ協：五十嵐福祉部員、  
山の手地区社協：栗山副会長、小合民児協：古田会長、金津民児協：茨木会長、  
小須戸民児協：米田会長、長寿楽：白井代表、こすどプラチナネットワーク：大貫代表、  
包括こすど：保苺センター長、秋葉区健康福祉課：明間主査、今井係長（行政担当者）  
秋葉区社協：横山事務局長補佐（事務局）、藤田地区担当、時田 SC、吉岡 SC

### 【内容】

#### 1 小合地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"><li>・なじらて訪問を継続することで、地域で見守りをする事の大切さが浸透してきている。</li><li>・なじらて訪問の対象者へ緊急情報キットの更新を確認できた。</li><li>・おせちの配達を通して地区社協と民生委員児童委員の連携が深まった。</li><li>・おせちに添える手紙を小学校に依頼し、小学生に書いてもらうことで、学校とのつながりができた。</li><li>・地域の方と顔を合わせる機会があると見守りにつながる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・おせちの配達を子どもたちと一緒に訪問できるか検討したい。</li><li>・地域で助け合っているところもあるが、隅々まで広がっていないため、困りごとに対応できるよう、しくみをつくっていききたい。</li><li>・高齢者や子どもとの関わりはあるが、若い世代との接点が少ない。</li><li>・サロンの参加者が減っている。サロンに若い人や子どもが来るようにするには、日程を変えなければならないが、そうすると今までの参加者が来ない可能性がある。良い方法を検討していききたい。</li></ul>

## 2 金津地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶の間が地域のニーズ把握の場となっている。</li> <li>・あい愛訪問で地域の高齢者を見守ることができている。</li> <li>・地域全体を見守る「ながら見守り」が定着し、不審者の事例もなくなった。</li> <li>・民生委員児童委員で地域の危険箇所の点検や災害時の民生委員児童委員の行動を検討できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体（コミ協や地区社協、自治会・町内会、民生委員児童委員等）との連携を検討していきたい。</li> <li>・ニーズが上がってきたものに対して、やるべきことは最優先で実行していきたい。</li> </ul>

## 3 小須戸地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービスセンター緑花園と連携した移動支援について検討し、茶の間や高齢者クラブへニーズ把握を行っている。</li> <li>・地域お手伝い隊が今年度立ち上がり、利用者は喜んでいた。</li> <li>・モデルハウスのスタッフが自分のためにもなっていると話しており、役割が生きがいになっている様子もある。</li> <li>・認知症予防や健康づくり、生きがいづくりをテーマに茶の間を開催している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援は継続させるのが難しいと思うが、コミ協と一緒に検討を重ねていきたい。来年度実施できるよう検討していく。</li> <li>・地域お手伝い隊については、今後の動きについて検討する予定。</li> <li>・ひとり親への支援者が少ないため、若い世代に対して支援していきたい。</li> <li>・自然と助け合いができているが、長く継続していくにはしくみがあるとよい。社協や行政と協力して進めていきたい。</li> </ul>

## 4 山の手地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏崎市のよろんごの木の方に来ていただき研修会を実施した。講演の内容を参考に、誰でも集まれる酒場のような居場所（ワンコイン酒場）を実施した。</li> <li>・山形県長井市に視察に行き、過疎地域の買い物等の対応について知ることができた。</li> <li>・失敗はなく、経験だと思って活動している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人知笑会で地域の困りごとに対応しているが、ボランティアが増えず、高齢化しており、このままでは続かなくなってしまう。</li> <li>・ワンコイン酒場の周知を行い、参加者を広げていき、集まった人で活動の輪も広がっていくことを期待している。</li> </ul>

## 5 圏域全体

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 包括もサロンに出向いて講話をしている。</li><li>・ 民生委員児童委員からの紹介であんしん連絡システムにつなぐことができている。</li><li>・ 声を掛けることが見守りに繋がっている。見守りが広がっていると感じる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 包括が実態把握として高齢者宅を訪問すると運動の場を求めているニーズが多いことが分かった。サロンなどをすすめている。</li><li>・ 担い手不足が課題となっていると感じる。</li><li>・ 地区ごとに取り組むことも大切だが、人口も減少しているため、圏域として取り組みを進めていくことも必要ではないか。</li></ul>

